

**《経営分析参考指標》**  
**病院(平成 28 年度決算分)**  
 ～概要～

**1. 一般病院**

**(1) 機能性の状況**

区 分		一般病院	
		平成 28 年度	
施設数(施設)		656	
病床数(床)		191.6	
利用率(%)		80.9	
在院日数(日)		19.1	
入院外来比		1.84	
新患率(%)		9.8	
1日平均患者数(人)	入院	155.0	
	外来	285.5	
1床当たり医業収益(千円)		20,191	
患者1人1日当たり 医業収益(円)	入院	47,547	
		うち室料差額	1,087
外来		12,182	
1施設当たり 従事者数(人)	医師	常勤	25.8
		非常勤	6.0
	看護師・准看護師・看護補助者		165.2
	その他		131.9
	計		328.9
患者規模100人当たり 従事者数(人)	医師	常勤	10.3
		非常勤	2.4
	看護師・准看護師・看護補助者		66.0
	その他		54.7
	計		133.4

**(2) 収支の状況**

区 分			一般病院	
			平成 28 年度	
収 支 の 状 況	収 益	経常収益構成比 (%)	医業収益	98.0
			医業外収益	2.0
		医業収益構成比 (%)	入院収入	69.5
			うち室料差額	1.6
			外来収入	26.3
			その他	4.2
	費 用	医業収益 に対する 医業費用の割合 (%)	人件費率	53.3
			医療材料費率	20.8
			給食材料費率	1.8
			経費率	18.5
			減価償却費率	5.3
			計	99.7
	医業収益対医業利益率(%)		0.3	
	経常収益対経常利益率(%)		0.6	
	従事者1人当たり年間医業収益(千円)		11,762	
労働生産性(千円)		6,310		
従事者1人当たり人件費(千円)		6,273		
労働分配率(%)		99.4		
経常収益対支払利息率(%)		0.9		

- (注1) 全病床に占める一般病床の割合が50%を超える病院を「一般病院」としています。  
 (注2) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていません。  
 (注3) 従事者数は、非常勤職員及び委託職員については「常勤換算※1」を行っています。  
 (注4) 給食材料費には、給食委託費を含んでいます。  
 (注5) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合もあります。  
 (注6) 開設後1年未満の病院は含まれていません。

## 2. 療養型病院

### (1) 機能性の状況

区 分		療養型病院	
		平成 28 年度	
施設数(施設)		470	
病床数(床)		151.2	
利用率(%)		90.3	
在院日数(日)		92.7	
入院外来比		0.52	
新患率(%)		7.8	
1日平均患者数(人)	入院	136.6	
	外来	71.0	
1床当たり医業収益(千円)		9,976	
患者1人1日当たり 医業収益(円)	入院	23,734	
		うち室料差額	367
外来		9,381	
1施設当たり 従事者数(人)	医師	常勤	5.5
		非常勤	2.8
	看護師・准看護師・看護補助者		94.2
	その他		68.4
	計		170.9
患者規模100人当たり 従事者数(人)	医師	常勤	3.4
		非常勤	1.7
	看護師・准看護師・看護補助者		58.8
	その他		43.4
	計		107.4

### (2) 収支の状況

区 分			療養型病院	
			平成 28 年度	
収 支 の 状 況	収 益	経常収益構成比 (%)	医業収益	97.9
			医業外収益	2.1
		医業収益構成比 (%)	入院収入	78.4
			うち室料差額	1.2
			外来収入	12.6
			その他	9.0
	費 用	医業収益 に対する 医業費用の割合 (%)	人件費率	59.5
			医療材料費率	8.5
			給食材料費率	3.4
			経費率	19.6
			減価償却費率	4.4
			計	95.3
	医業収益対医業利益率(%)			4.7
経常収益対経常利益率(%)			5.5	
従事者1人当たり年間医業収益(千円)			8,831	
労働生産性(千円)			5,665	
従事者1人当たり人件費(千円)			5,252	
労働分配率(%)			92.7	
経常収益対支払利息率(%)			0.6	

- (注1) 全病床に占める療養病床の割合が50%を超える病院を「療養型病院」としています。  
(注2) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていません。  
(注3) 従事者数は、非常勤職員及び委託職員については「常勤換算※1」を行っています。  
(注4) 給食材料費には、給食委託費を含んでいます。  
(注5) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合があります。  
(注6) 開設後1年未満の病院は含まれていません。

### 3. 精神科病院

#### (1) 機能性の状況

区 分		精神科病院	
		平成 28 年度	
施設数(施設)		250	
病床数(床)		281.8	
利用率(%)		89.7	
在院日数(日)		264.6	
入院外来比		0.32	
新患率(%)		2.3	
1日平均患者数(人)	入院	252.9	
	外来	81.3	
1床当たり医業収益(千円)		6,179	
患者1人1日当たり 医業収益(円)	入院	16,020	
		うち室料差額	188
	外来	8,998	
	1施設当たり 従事者数(人)	医師	常勤
非常勤			2.6
	看護師・准看護師・看護補助者		131.5
	その他		59.3
		計	201.3
患者規模100人当たり 従事者数(人)	医師	常勤	2.8
		非常勤	0.9
	看護師・准看護師・看護補助者		47.0
	その他		21.6
		計	72.3

#### (2) 収支の状況

区 分			精神科病院	
			平成 28 年度	
収 支 の 状 況	収 益	経常収益構成比 (%)	医業収益	97.4
			医業外収益	2.6
		医業収益構成比 (%)	入院収入	84.9
			うち室料差額	1.0
			外来収入	11.8
	費 用	医業収益 に対する 医業費用の割合 (%)	その他	3.3
			人件費率	62.4
			医療材料費率	7.0
			給食材料費率	5.5
			経費率	18.0
		減価償却費率	4.7	
		計	97.5	
医業収益対医業利益率(%)			2.5	
経常収益対経常利益率(%)			3.6	
従事者1人当たり年間医業収益(千円)			8,649	
労働生産性(千円)			5,616	
従事者1人当たり人件費(千円)			5,397	
労働分配率(%)			96.1	
経常収益対支払利息率(%)			0.7	

- (注1) 全病床に占める精神病床の割合が80%を超える病院を「精神科病院」としています。  
(注2) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていません。  
(注3) 従事者数は、非常勤職員及び委託職員については「常勤換算※1」を行っています。  
(注4) 給食材料費には、給食委託費を含んでいます。  
(注5) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合があります。  
(注6) 開設後1年未満の病院は含まれていません。

### 経営指標一覧（病院）

経営指標	算式	説明
利用率	$\frac{\text{年間延べ入院患者数}}{\text{年間延べ許可病床数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院のもつ病床数に対して、どの程度の利用が行われたかを示す指標です。</li> <li>本指標の値が高いほど病床機能が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することになります。</li> </ul>
在院日数	$\frac{\text{年間延べ入院患者数}}{\{(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \div 2\}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに入院した患者が退院するまでにかかる平均期間から、病院の診療行為機能を判断します。</li> <li>本指標の値が短いほど効率的に医療資源を活用していると言え、一般的に収益増加に寄与することになりますが、病床利用率との関係にも注意が必要です。</li> </ul>
入院外来比	$\frac{\text{1日平均外来患者数}}{\text{1日平均入院患者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日当たりの入院患者数と外来患者数の比率から病院の性格を判断します。</li> <li>診療科目や病床規模により値は異なりますが、一般的には値が高いほど患者確保ができており、収益増加に寄与することになります。</li> </ul>
新患率	$\frac{\text{新来患者数}}{\text{年間延べ外来患者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>延べ外来患者数に占める新来患者数の割合から、外来の収益性と動向を判断します。</li> <li>本指標の値が高いほど診療行為のニーズが高いことから、収益増加に寄与することになります。</li> </ul>
1床当たり 医業収益	$\frac{\text{医業収益}}{\text{平均許可病床数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>医業収益を病床数で割り戻した収益であり、病院全体の収益性を判断するものです。</li> <li>本指標の値が大きいほど収益増加に寄与することになります。</li> </ul>
患者1人1日当たり 医業収益（入院）	$\frac{(\text{入院診療収益} + \text{室料差額収益})}{\text{年間延べ入院患者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者1人1日当たりの入院診療収益及び室料差額収益から、診療行為の対価としての収益額の多寡を判断します。</li> <li>本指標の値が大きいほど収益単価が高いため、収益増加に寄与することになります。</li> </ul>
患者1人1日当たり 医業収益（外来）	$\frac{\text{外来診療収益}}{\text{年間延べ外来患者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来患者1人1日当たりの外来診療収益から、診療行為の対価としての収益額の多寡を判断します。</li> <li>本指標の値が大きいほど収益単価が高いため、収益増加に寄与することになります。</li> </ul>
患者規模100人 当たり従事者数	※2	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者規模100人に対して配置される職員数からその多寡を判断します。</li> <li>本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。</li> </ul>

経営指標	算式	説明
人件費率	$\frac{\text{人件費}}{\text{医業収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収益に対する人件費の占める割合を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。</li> </ul>
医療材料費率	$\frac{\text{医療材料費}}{\text{医業収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収益に対する医療材料費の占める割合を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。</li> </ul>
給食材料費率	$\frac{\text{給食材料費}}{\text{医業収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収益に対する給食材料費の占める割合を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。</li> </ul>
経費率	$\frac{\text{経費※3}}{\text{医業収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収益に対する経費の占める割合を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。</li> </ul>
減価償却費率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{医業収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収益に対する減価償却費の占める割合を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値にとどめることも重要です。</li> </ul>
医業収益対 医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業である医業収益そのものから得られた利益を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。</li> </ul>
経常収益対 経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{経常収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業である医業収益に受取利息等を加えた、病院に通常発生している収益から得られた利益を示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。</li> </ul>
従事者1人当たり 年間医業収益	$\frac{\text{医業収益}}{\text{年間平均従事者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従事者1人当たりどの程度の医業収益を得ているかによって効率を判断します。</li> <li>・ 本指標の値が大きいほど職員の収益獲得力が高いことから収益増加あるいは費用削減に寄与することになります。</li> </ul>
労働生産性	$\frac{\text{付加価値額※4}}{\text{年間平均従事者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従事者1人がどれだけの付加価値を生み出したかを示す指標です。</li> <li>・ 本指標の値が高いほど、各々の従事者が効率よく価値を生み出し、円滑な運営管理が行われているといえます。</li> </ul>

経営指標	算式	説明
従事者1人当たり 人件費	$\frac{\text{人件費}}{\text{年間平均従事者数}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>従事者1人にかかる平均人件費から給与水準を示す指標です。</li> <li>本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。</li> </ul>
労働分配率	$\frac{\text{人件費}}{\text{付加価値額}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値が人件費にどれだけ分配されているかを判断する指標です。</li> <li>本指標の値が低いほど増減差額の割合は高まります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。</li> </ul>
経常収益対 支払利息率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{経常収益}}$	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常収益に対する支払利息の占める割合を示す指標です。</li> <li>本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。</li> </ul>

※1「常勤換算」は次の式で算定しています。

常勤換算＝当該職務にかかる全非常勤職員の1週間の総勤務時間数÷当該職務にかかる常勤職員が1週間に勤務すべき時間数

※2「患者規模100人当たり従事者数」は次の式で算定しています。

患者規模100人当たり従事者数＝年間平均従事者数÷(1日平均入院患者数+1日平均外来患者数÷3)×100  
(ただし、調理員及び栄養士については、(年間平均従事者数÷1日平均入院患者数)×100)

※3「経費」は次の式で算定しています。

経費＝医業費用－(人件費+医療材料費+給食材料費+減価償却費)

※4「付加価値額」は次の式で算定しています。

付加価値額＝医業収益－(経費+医療材料費+給食材料費+減価償却費)